

抗 議 文

2022年4月14日

アメリカ合衆国

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

日本国神奈川県

三浦市長 吉田 英男

三浦市は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願い、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活の中に生かし、子々孫々に継承するため、「世界最初の核被爆国民として、また、1954年にアメリカのビキニ環礁での水爆実験により大きな被害を受けた経験を持つ三浦市民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、全世界の人々に訴えるものである。」と、核兵器廃絶平和都市宣言を行っています。

このたび、昨年6月と9月に臨界前核実験が行われていたとの報道に接しました。

貴国が行った行為は、平和と安全を願う世界全体を強く脅かす出来事であり、核兵器廃絶平和都市宣言を行い、市民とともに恒久平和を訴え続けている本市としては到底受け入れることはできず、強い憤りを覚えます。

ここに市民を代表して抗議するとともに、今後、このような暴挙を二度と繰り返すことのないよう、強く要請します。